

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)L.Biz 丸の内 新築工事	階数	地上12F
建設地	愛知県名古屋市中区丸の内1丁目819、820番	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	360 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2024年3月26日
敷地面積	357 m ²	作成者	
建築面積	269 m ²	確認日	2024年3月26日
延床面積	3,037 m ²	確認者	



してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.1 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 Q 環境負荷 L	標準計算 ① 参照値 100% ② 建築物の取組み 77% ③ 上記②以外の 77% ④ 上記+ 77% このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.7
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 建物利用者が快適に過ごすことができるようより良い室内環境の形成に努めるとともに、省エネルギーについても配慮をしリサイクル材の使用や省水型機器を採用する計画とした。	その他 特に無し	
Q1 室内環境 内装材は全てF☆☆☆☆以上建材を使用。	Q2 サービス性能 内装仕上げ床内壁面は防汚性の高い建材を採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を設けた。
LR1 エネルギー LED照明設備を採用し設備システムの効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能、再利用できるユニット部材を採用するなど、部材の再利用向上に取り組んでいる。また節水型機器や自動水栓の採用による資源の有効利用に努めている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)LBiz 丸の内 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.8
LR1	エネルギー	4.0	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.090155592	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009015559	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045077796	
3. 循環型社会				3.6
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.8



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。